



文 武 両 輪

ぶん ぶ りょう りん
～勉強も行事も部活動も～

令和5年 5月26日

【文責】校長 蔦川 誠

見聞を広め、絆を深めた修学旅行！

5月9日(火)に3年生が3泊4日の日程で、東京方面への修学旅行に行ってきました。コロナ禍もあって、東京方面の修学旅行は4年ぶりでした。昨年度から実行委員会を中心として、「結(おすび)～Let's make memories～」のテーマのもと、十分に時間をかけて事前の準備や学習を行ってきました。

今回、施設見学や体験学習、及び共同生活などの集団活動を行うことで、校内での学習では決して得ることのできない生きた知識を獲得したり、先生方や仲間との絆を深めたりして、とても貴重な経験をすることができました。さらには今回の旅行を通じて、集団としてのよい面がいくつも見られました。よい面はこれからの学校生活で生かしてくれることを期待しています。

修学旅行の実施については、保護者の皆様に御理解と御協力をいただきました。ありがとうございました。引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきますよう、お願いいたします。

代表生徒の“振り返り”を紹介します。

修学旅行実行委員会委員長 高山 朝陽

この修学旅行で学んだことは、八戸と東京の違いです。東京は八戸に比べて、飲食店や人が圧倒的に多く、日本の経済や文化の中心だと感じました。ただ、自然環境については、八戸の方が自然豊かだなあと感じました。東京と八戸はそれぞれ違った強みがあり、それぞれにその強みを生かした「まちづくり」をしていることが分かりました。

修学旅行実行委員会副委員長 南 悠斗

私たちは「安全に楽しみ、全員が無事に帰ること」を最優先に臨みました。修学旅行を通じて学んだことがあります。それは「計画する力」です。決められた時間内に効率的に活動するためには必須となる力です。修学旅行という一大イベントを終えた今、全員が力を合わせたから修学旅行を成功させることができたと思います。私にとって一生の思い出に残る修学旅行となりました。

修学旅行実行委員会副委員長 向明戸 花夏

修学旅行を通じて、普段の生活がいかに大切かを学びました。それは、時間を守る、さわやかに挨拶する、話を聴いて考動するなどの集団行動の部分です。普段の生活を生かすこともできたところもあれば、できなかったところもありました。全体的には、どの班でも班の仲間が協力して行動することができていました。私たち3年生の学校生活3年間の集大成の花を咲かせることができました。

